

# 令和5年度学校自己評価システムシート(県立宮代高等学校)(案)

|        |   |
|--------|---|
| 目指す学校像 | 生徒一人ひとりの「よさ」を伸ばし、次代をたくましく生き抜くための学力と規範意識を身に付けた人間を育てる |
|--------|---|

|      |   |
|------|---|
| 重点目標 | 1 生徒一人ひとりに見合った学習環境を提供し、基礎学力を確実に向上させ、自ら考え、判断し、表現する力につなげる<br>2 生徒一人ひとりの資質を把握し、個々に目標・目的を持たせ、規律ある学校生活を送らせる<br>3 積極的な広報活動を行うとともに、保護者・地域・関係諸機関との連携を強化する |
|------|---|

|     |   |             |
|-----|---|-------------|
| 達成度 | A | ほぼ達成(8割以上)  |
|     | B | 概ね達成(6割以上)  |
|     | C | 変化の兆し(4割以上) |
|     | D | 不十分(4割未満)   |

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

|     |          |   |
|-----|----------|---|
| 出席者 | 学校関係者    | 名 |
|     | 生徒       | 名 |
|     | 事務局(教職員) | 名 |

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。  
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

| 学 校 自 己 評 価 |  |  |   |  | 学 校 関 係 者 評 価 |     |             |                   |  |
|-------------|--|--|---|--|---------------|-----|-------------|-------------------|--|
| 年 度 目 標     |  |  |   | 年 度 評 価 ( 月 日 現 在 )  |               |     |             |                   |  |
| 番号          | 現状と課題  | 評価項目   | 具体的方策   | 方策の評価指標  | 評価項目の達成状況     | 達成度 | 次年度への課題と改善策 | 実施日 令和 年 月 日      |  |
|             |  |  |   |  |               |     |             | 学校関係者からの意見・要望・評価等 |  |
| 1           | <p>【現状】授業に主体的に参加し理解している生徒が増加し、進路実現に向けて目的意識を持って、意欲的に学校生活を送っている。</p> <p>【課題】基礎学力の振り返りやICT活用、AL等により学習活動の充実を図っているが、知識・技能の定着には繰り返しが必要であり、さらに思考・判断・表現力に結び付ける実践はまだ不十分である。また、目標を高く持ち資格検定を計画的に受験する生徒を増やすことが課題である。一人一台端末導入に合わせ授業を工夫する。</p> | <p>○基礎学力を定着させる授業実践と授業研究を行い教員の指導力を向上させる。</p> <p>○朝学習、通常補習や長期休業補習の講座へ、参加者を増やし内容を充実する。</p> <p>○多様な進路希望の実現に向けて、一人ひとりに適した進路指導を行い、資格取得に向け目標を設定させ計画的な学習を支援する。</p> | <p>①ICTを活用してわかりやすい教材を作成、実習科目では理解を助ける実験・観察を工夫する。また、AL授業等増やし、生徒が自ら取り組めるよう工夫する。</p> <p>②生徒が希望する科目の補習は必要な時期に適切に実施する。また、学習サポーターの有効活用で生徒の基礎力向上支援に繋げる。</p> <p>③三年間を見通し、早い時期から進路指導を行う。また、年間で資格テスト受験率一人1つ以上を目指し普段の指導を一層徹底する。</p> | <p>①「授業が理解できているか」という生徒の割合90%以上。</p> <p>②補習へ参加する生徒の人数を昨年度よりも増加させる。また、欠点を取る生徒は減少したか。</p> <p>③生徒の個々の受験の割合30%以上。また、合格者数を上げる。</p> |               |     |             |                   |  |
| 2           | <p>【現状】生徒の多くは校則を遵守し落ち着いた生活を送っているが、未だ自己管理を徹底することができない生徒もみられる。</p> <p>【課題】生徒一人ひとりの資質を認め人権に配慮し、個に応じた指導と足並みを揃えた生徒指導を行う。春日部特別支援学校宮代分校との合同行事をさらに活発にし、本校生徒及び保護者に共生社会に向けたインクルーシブ教育への理解を深めていく。</p>  | <p>○家庭と連携し、学年・生徒指導等情報を共有して、個の特性に応じたきめ細かな指導を徹底する。</p> <p>○充実した学校生活を目指し、魅力ある学校づくりを実践する。また、カウンセリングを充実させる。</p> <p>○道徳教育・インクルーシブ教育を充実させ、共生できる学校づくりを行う。</p>      | <p>①巡回指導や個別面談等で生徒の様子を把握し、学年などで共有する。また、遅刻者へは遅刻カードを活用し指導を充実させる。</p> <p>②キャリア教育、部活、教育相談等を充実させ、学校生活へ意識を向けさせる。</p> <p>③道徳教育推進モデル校指定事業として、講演会や分校と交流行事を継続的に行い、思いやりや優しさを育成する。</p>   | <p>①遅刻・欠席・早退者、生徒指導の件数を減少させる。</p> <p>②部活動への参加者を増やす。また、教育相談は有効であったか。</p> <p>③道徳教育・インクルーシブ教育を充実させ、講演会や分校との連携事業を、定期的実施する。</p>    |               |     |             |                   |  |
| 3           | <p>【現状】コロナ禍の中、地域(宮代町、町教委、自治会、商工会)交流や異校種交流事業を行い、豊かな人間性と社会性を育成する機会を持つことができています。</p> <p>【課題】様々な手段や機会を用いて、本校の教育活動を周知するとともに、関係諸機関と連携して、開かれた学校づくりを推進する。</p>  | <p>○学校内外の教育資源、地域資源を活用した交流事業、また、春日部特別支援学校宮代分校との交流を継続して行う。</p> <p>○中学生に魅力ある情報発信をし、入学希望者数の増加につなげる。</p>  | <p>①小中学校との交流事業や生徒の個々の特性を生かした活動で地域参加を継続し、地域とともに成長し、地域から信頼される学校づくりを実践する。</p> <p>②HPとメール配信システム等の活用により、本校の魅力積極的に情報発信し、家庭・地域との連携を強化する。</p>   | <p>①近隣小中学校等との連携活動、地域交流や地域貢献活動等、生徒の活躍の場を開拓する。</p> <p>②HPを充実させ、一日平均2,500アクセス数を目指す。保護者メールは効果的な情報を適宜発信する。関係諸機関との連携を大切にする。</p>    |               |     |             |                   |  |